

2017年度(平成29年度) ことばの教育年間指導計画

福山市立川口小学校 第6学年

めざす子ども像		「話す・聞く」「書く」のことばの学習活動の充実を図り、学力の基盤を確かなものとする。また、自分の考えを相手にわかりやすく伝えるときも、他者の考えを尊重できる子どもを育てる。													
目 標	話す・聞く 書く	1学期					2学期					3学期			
		・目的や意図に応じ、伝えたいことを事実と感想、意見と区別したり、結論付けを明確にしたりして話す。 ・目的や意図に応じて、自分の考えを伝えるために文章全体の構成について考えて書く。					・目的や意図をとらえ、自分の考えと比べて話を聞き、共通点や相違点、関連して考えたことなどを整理して話し合う。 ・事実と感想、意見などを区別し、簡単に書いたり、詳しく書いたりする。					・目的や意図をとらえ、自分の考えと比べて話を聞き、共通点や相違点、関連して考えたことなどを整理して話し合う。 ・事実と感想、意見などを区別し、簡単に書いたり、詳しく書いたりする。			
月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
国語科	話す・聞く 情報獲得・発信		『学級討論会をしよう』 自分の立場や意図を話す	『河鹿の屏風』人物や場面を想像しながら聞く				『平和のとりを築く』目的を明確にして話す					『今、わたしは、ぼくは』表現を工夫して話す		
	読む 情報獲得	『カレライス』心情や場面の描写をとらえて読む						『やまなし』作品の特徴や作者の思いを捉える	『鳥獣戯画を読む』筆者の考えを明確にしなが読む				『自然に学ぶ暮らし』文章の内容を明確に捉える 『海の命』登場人物や場面の様子を捉える 『卒業するみなさんへ』自分の考えを深めなが読む		
	書く 情報発信		『春のいぶき』言葉や表現を工夫して書く	『ようこそ、わたしたちの町へ』表現の効果を考えながら書く	『夏のさかり』言葉や表現を工夫して書く		『たのしみは』表現の仕方を工夫して書く	『平和のとりを築く』構成を工夫して書く	『秋の深まり』言葉や表現を工夫して書く	『この世、わたしはこう見る』表現の効果を工夫して書く			『忘れられない言葉』事実と感想、意見を区別して書く		
	音読 情報獲得	『支度』感じたことが伝わるように読む		『本は友達』読書生活の幅を広げる			『せんねんまんねん』感じたことが伝わるように読む	『やまなし』表現を味わう			『柿山伏』狂言のおもしろさにふれる			『未知へ』優れた叙述を味わいなが読む	
各教科・道徳							(道)積極的に聞こう			(道)積極的に話そう					
特別活動・学級会活動		← 司会の仕方 → 学級を見つめて 雨の日の過ごし方 学級を見つめて 修学旅行に向けて 学級を見つめて 卒業に向けて													
総合的な学習の時間		『福山の歴史を調べよう』調べたことを分かりやすくまとめる					『日本のふるさとを体験しよう』辞典やインターネットなどを使って調べてまとめ、発表する					『ふるさとの歴史や文化を伝えよう』課題を見つけ、発信する			
学校行事・児童会活動 深化		← あいさつ運動・児童集会(委員会発表等) →													
朝の会		← 1分間スピーチ →													
くすのきタイム		← 優れた表現の文章を音読する →													
詩・標語・読書感想文等					俳句		詩		防火標語	人権標語			読書感想文		
読書タイム		← 10分間読書 →													
推薦図書紹介			自然にかかわる本	ガイドブック	夏の課題図書		伝記	平和に関する本	宮澤賢治の作品				生き方に学ぶ本	立松和平の作品	
図書館活用の指導		図書館のきまりを知ろう	本の検索をし、利用しよう	情報を収集し、選択しよう	目的に合わせて利用しよう		各種資料を活用しよう	調べたことなどをまとめよう	情報を収集、選択し、まとめよう	国語・漢字辞典を利用しよう			記録のとりを工夫しよう	自分の考えを発表しよう	利用について振り返ろう
読書ボランティアとの連携 公立図書館との連携等		← 本の読み聞かせ、図書の修繕・整理 →													